



「ナゴヤ学びのコンパス」は、名古屋市全ての子どもが学びを通して自分らしく、幸せに生きていくことができるよう、名古屋市の学びの基本的な考えを示したものです。

実現したい市民の姿

自由な市民として互いを認め合い共に社会を創造する

目指したい子どもの姿

ゆるやかな協働性の中で自律して学び続ける



名古屋市の教育を取り巻く状況

変化する社会環境の中で

- 人口減少、人口構造の変化（少子化、高齢化）
- 誰もが参画できる社会へ（ソーシャル・インクルージョン）
- デジタル化の急速な進展
- 持続可能な社会を目指して

教育課題の解決を目指します

- ラーニング・ダイバーシティ（学びの多様性）対応
- 探究的な学びの推進
- キャリア教育の充実
- いじめの未然防止・早期対応
- 子どもを守る取り組みの強化
- 教職員を取り巻く環境整備
- 教育施設の老朽化
- 地域の教育力向上

計画の体系

5つの基本的方向と、その実現を図るための20の施策により

具体的かつ体系的な方策を定め、取り組んでいきます。

詳しくは中面をご覧ください。

計画の進行管理

- 本計画の推進にあたっては、以下の3つのポイントを踏まえてPDCAサイクルによる進行管理を行い、関係する部局等と連携して、取り組みを着実に推進します。
- 施策の進捗よく状況を把握するため、施策ごとに成果指標とその目標値を設定します。

3つのポイント

点検評価を毎年度実施し外部意見を聴取

教育委員と事業の見直しや新たな課題への対応などについて協議

子どもたちから直接意見を聴取

聴取した意見を施策に反映



詳しくはWebサイトをご覧ください

名古屋市教育振興基本計画

検索



https://www.city.nagoya.jp/kyoiku/page/0000051736.html

概要版

（発 行）名古屋市教員委員会事務局総務部企画経理課

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

TEL:052-972-3272 FAX:052-972-4175 E-mail:a3272@kyoiku.city.nagoya.lg.jp

表紙のイラストは、名古屋市立工芸高校デザイン科/服部めぐみ さんの作品です。

この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を利用しています。

コンパスぶらん

（第4期名古屋市教育振興基本計画）

～「子ども中心の学び」へ～

概要版



令和6(2024)～10(2028)年度
名古屋市教育委員会

コンパスぶらん

第4期名古屋市教育振興基本計画

計画策定の考え方

「コンパスぶらん」は、子ども中心の学びを明確にした「ナゴヤ学びのコンパス」の考え方に基づき、実現したい市民の姿、目指したい子どもの姿を具現化するための方策を取りまとめた基本的な計画です。

計画の位置づけ

名古屋市次期総合計画

ナゴヤ子ども応援大綱

整合

尊重

コンパスぶらん

第4期名古屋市教育振興基本計画



参酌

（国）教育振興基本計画

国が定める「教育振興基本計画」を参酌するとともに、名古屋市長が定める教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策大綱「ナゴヤ子ども応援大綱」を尊重し、名古屋市次期総合計画と整合を図り、策定しました。

計画期間

令和6(2024)年度～令和10(2028)年度までの5年間

基本的方向 I

子どもが自律して学び続け、持続可能な社会の創り手となるよう、子ども中心の学びを進めます

施策 1

子ども一人一人の興味・関心や能力、進度に応じた「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実する取り組みを進めます

- 「ナゴヤ学びのコンパス」の目指す学びの推進
- 市立高等学校における学びのあり方改革
- 幼児教育の質向上

施策 2

子ども一人一人が、自分の興味・関心や個性などに応じた学びを通して自分らしい生き方を実現できる力を育てます

- キャリア教育の推進
- グローバル人材育成の推進

施策 3

人権を尊重し多様性を認め合う豊かな心を育てるとともに、子どもが主体的に社会の形成に参画できる取り組みを進めます

- 学校教育における人権教育の推進
- 主体的な社会の形成への参画
- 交流や体験活動を通じた学びの推進

施策 4

望ましい生活習慣を身に付け、生涯にわたって健やかに生きるための心身を育みます

- 豊かな心身を育む取り組みの推進
- アジア・アジアパラ競技大会を契機とした取り組みの推進

施策 5

多様な教育的ニーズに対応したきめ細やかな支援を推進します

- 特別な支援が必要な子どもへの指導・支援の充実
- 外国にルーツを持つ子ども等への支援の充実
- 市立夜間中学の設置・運営

基本的方向 II

子ども一人一人が幸福や生きがいを感じられるよう、誰一人取り残すことなく、学校・家庭・地域などが連携して子どもの育ちを支えます

施策 6

子どもや親を総合的に支援し、子どもの針路を応援します

- なごや子ども応援委員会の運営
- 教育と福祉の連携による支援の充実

施策 7

いじめの防止対策や不登校児童生徒への支援を推進します

- いじめ防止対策の推進
- 不登校児童生徒への支援の充実

施策 8

保護者の経済的負担を軽減し、子どもの多様な進路選択を支援します

- 就学援助・奨励の推進
- 私学助成の推進

施策 9

家族のふれあいと家庭の教育力向上を支援します

- 家庭教育支援の推進

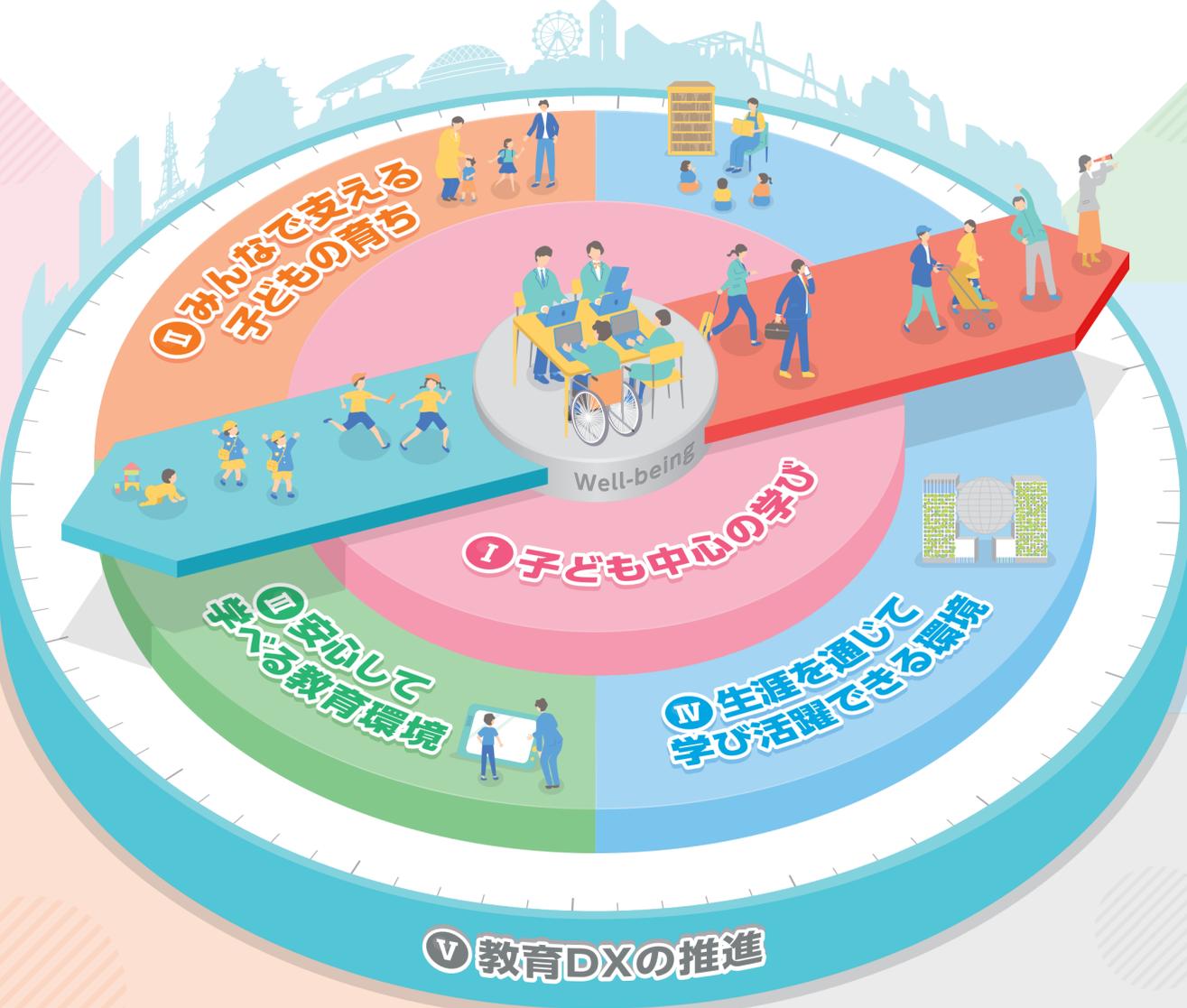
施策 10

地域とともに子どもを見守り、育みます

- 学校と地域の連携の推進
- 地域の力を活かした教育活動の推進

5つの基本的方向と20の施策で「子ども中心の学び」を推進します

この図は「ナゴヤ学びのコンパス」の考え方に基づき、生涯を通じて学び続ける姿と5つの基本的方向が学びを支える様子を描いています。



基本的方向 III

子どもが安心して安全に学べるよう、良好な教育環境を整備します

施策 11

豊かな人間性と確かな指導力を持った教職員を育成します

- 優秀な人材の確保
- 教職員の資質能力の向上

施策 12

教職員が心身ともに健康に、笑顔で子どもと向き合えるよう、学校における働き方改革を推進します

- 学校における働き方改革の推進
- 学校における問題解決の推進

施策 13

子どもが安心・安全で快適に学ぶことができる質の高い教育環境を整えます

- 学校施設の計画的な改修の推進
- 学校における避難所機能の強化
- 公的施設等との複合化の推進

施策 14

子どもにとって望ましい学校規模を確保します

- 望ましい学校規模の確保

基本的方向 IV

市民一人一人が豊かな人生を送ることができるよう、生涯を通じて学び、活躍できる環境を整えるとともに、名古屋の魅力創造・発信します

施策 15

生涯を通じて学び、社会で活躍し続けられるよう支援します

- 社会教育における人権教育の推進
- 生涯学習施設の魅力向上

施策 16

図書館改革を進め、読書機会の充実と多様な学びを支援します

- 図書館の魅力向上
- 子どもの読書活動の推進

施策 17

博物館・美術館・科学館の魅力を磨き上げ、発信します

- 博物館の魅力向上
- 美術館の魅力向上
- 科学館の魅力向上

施策 18

名古屋の歴史や文化に根ざした魅力を大切に、活用・発信します

- 文化財の保存活用の推進

基本的方向 V

教育デジタルトランスフォーメーション(DX)を推進します

施策 19

未来の学びを支える、ICT環境の進化に取り組みます

- 教育データ活用とEBPMの推進
- ICTを活用した教育の推進

施策 20

ICTを活用できる能力を高め、新たな学びの可能性を広げます

- 子どもの情報活用能力の向上
- 教職員のICT活用指導力向上・活用支援

コンパスぶらん

(第4期名古屋市教育振興基本計画)

～「子ども中心の学び」へ～

概要版



令和6(2024)～10(2028)年度
名古屋市教育委員会

コンパスぶらん

第4期名古屋市教育振興基本計画

計画策定の考え方

「コンパスぶらん」は、子ども中心の学びを明確にした「ナゴヤ学びのコンパス」の考え方にに基づき、実現したい市民の姿、目指したい子どもの姿を具現化するための方策を取りまとめた基本的な計画です。

計画の位置づけ

名古屋市次期総合計画 ナゴヤ子ども応援大綱

⇄ 整合

⇄ 尊重

コンパスぶらん

第4期名古屋市教育振興基本計画

ナゴヤ
学びのコンパス

↑ 参酌

(国)教育振興基本計画

国が定める「教育振興基本計画」を参酌するとともに、名古屋市長が定める教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策大綱「ナゴヤ子ども応援大綱」を尊重し、名古屋市次期総合計画と整合を図り、策定しました。

計画期間

令和6(2024)年度～令和10(2028)年度までの5年間



「ナゴヤ学びのコンパス」は、名古屋市の全ての子どもが学びを通して自分らしく、幸せに生きていくことができるよう、名古屋市の学びの基本的な考えを示したものです。

実現したい市民の姿

自由な市民として互いを認め合い共に社会を創造する

目指したい子どもの姿

ゆるやかな協働性の中で自律して学び続ける

名古屋市の教育を取り巻く状況

変化する社会環境の中で

- 人口減少、人口構造の変化(少子化、高齢化)
- 誰もが参画できる社会へ(ソーシャル・インクルージョン)
- デジタル化の急速な進展
- 持続可能な社会を目指して

教育課題の解決を目指します

- ラーニング・ダイバーシティ(学びの多様性)対応
- 探究的な学びの推進
- キャリア教育の充実
- いじめの未然防止・早期対応
- 子どもを守る取り組みの強化
- 教職員を取り巻く環境整備
- 教育施設の老朽化
- 地域の教育力向上

計画の体系

5つの基本的方向と、その実現を図るための20の施策により

具体的かつ体系的な方策を定め、取り組んでいきます。

詳しくは中面をご覧ください。



基本的方向 I 子どもが自律して学び続け、持続可能な社会の創り手となるよう、子ども中心の学びを進めます

施策 1

子ども一人一人の興味・関心や能力、進度に応じた「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実する取り組みを進めます

- 「ナゴヤ学びのコンパス」の目指す学びの推進
- 市立高等学校における学びのあり方改革
- 幼児教育の質向上

施策 3

人権を尊重し多様性を認め合う豊かな心を育てるとともに、子どもが主体的に社会の形成に参画できる取り組みを進めます

- 学校教育における人権教育の推進
- 主体的な社会の形成への参画
- 交流や体験活動を通じた学びの推進

施策 5

多様な教育的ニーズに対応したきめ細やかな支援を推進します

- 特別な支援が必要な子どもへの指導・支援の充実
- 外国にルーツを持つ子ども等への支援の充実
- 市立夜間中学の設置・運営

基本的方向 II 子ども一人一人が幸福や生きがいを感じられるよう、誰一人取り残すことなく、学校・家庭・地域などが連携して子どもの育ちを支えます

施策 6

子どもや親を総合的に支援し、子どもの針路を応援します

- なごや子ども応援委員会の運営
- 教育と福祉の連携による支援の充実

施策 7

いじめの防止対策や不登校児童生徒への支援を推進します

- いじめ防止対策の推進
- 不登校児童生徒への支援の充実

施策 8

保護者の経済的負担を軽減し、子どもの多様な進路選択を支援します

- 就学援助・奨励の推進
- 私学助成の推進

施策 9

家族のふれあいと家庭の教育力向上を支援します

- 家庭教育支援の推進

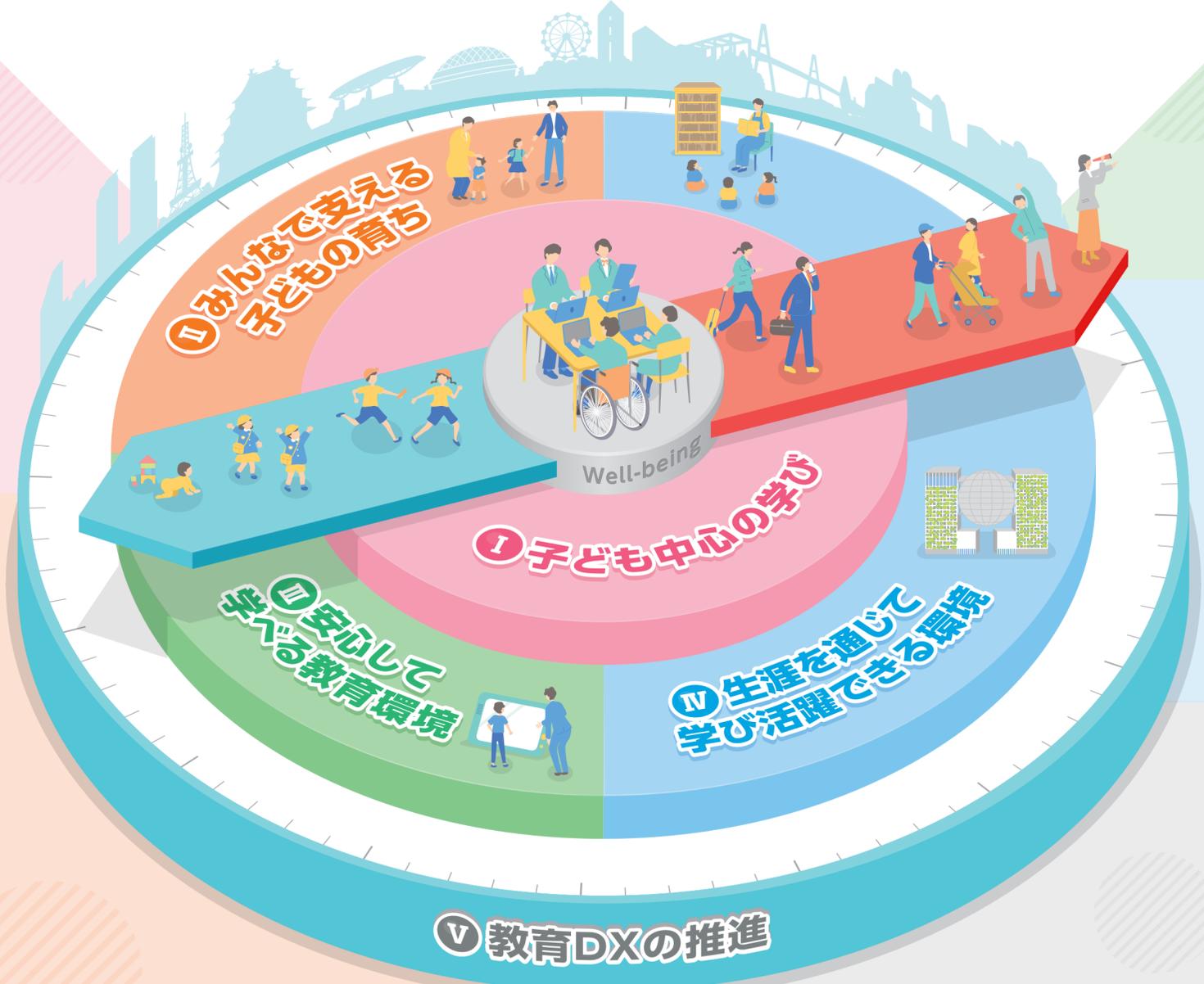
施策 10

地域とともに子どもを見守り、育みます

- 学校と地域の連携の推進
- 地域の力を活かした教育活動の推進

5つの**基本的方向**と20の**施策**で「子ども中心の学び」を推進します

この図は「ナゴヤ学びのコンパス」の考え方に基づき、生涯を通じて学び続ける姿と5つの基本的方向が学びを支える様子を描いています。



基本的方向 III 子どもが安心して安全に学べるよう、良好な教育環境を整備します

施策 11

豊かな人間性と確かな指導力を持った教職員を育成します

- 優秀な人材の確保
- 教職員の資質能力の向上

施策 12

教職員が心身ともに健康に、笑顔で子どもと向き合えるよう、学校における働き方改革を推進します

- 学校における働き方改革の推進
- 学校における問題解決の推進

施策 13

子どもが安心・安全で快適に学ぶことができる質の高い教育環境を整えます

- 学校施設の計画的な改修の推進
- 学校における避難所機能の強化
- 公的施設等との複合化の推進

施策 14

子どもにとって望ましい学校規模を確保します

- 望ましい学校規模の確保

基本的方向 IV 市民一人一人が豊かな人生を送ることができるよう、生涯を通じて学び、活躍できる環境を整えとともに、名古屋の魅力を創造・発信します

施策 15

生涯を通じて学び、社会で活躍し続けられるよう支援します

- 社会教育における人権教育の推進
- 生涯学習施設の魅力向上

施策 16

図書館改革を進め、読書機会の充実と多様な学びを支援します

- 図書館の魅力向上
- 子どもの読書活動の推進

施策 17

博物館・美術館・科学館の魅力を引き上げ、発信します

- 博物館の魅力向上
- 美術館の魅力向上
- 科学館の魅力向上

施策 18

名古屋の歴史や文化に根ざした魅力を大切に、活用・発信します

- 文化財の保存活用の推進

基本的方向 V 教育デジタルトランスフォーメーション(DX)を推進します

施策 19

未来の学びを支える、ICT環境の進化に取り組みます

- 教育データ活用とEBPMの推進
- ICTを活用した教育の推進

施策 20

ICTを活用できる能力を高め、新たな学びの可能性を広げます

- 子どもの情報活用能力の向上
- 教職員のICT活用指導力向上・活用支援

計画の進行管理

- 本計画の推進にあたっては、以下の3つのポイントを踏まえてPDCAサイクルによる進行管理を行い、関係する部局等と連携して、取り組みを着実に推進します。
- 施策の進ちよく状況を把握するため、施策ごとに成果指標とその目標値を設定します。

3つのポイント

点検評価を毎年度実施し
外部意見を聴取

教育委員と事業の
見直しや新たな課題への
対応などについて協議

子どもたちから
直接意見を聴取

聴取した意見を施策に反映



詳しくはWebサイトをご覧ください

名古屋市教育振興基本計画

検索



<https://www.city.nagoya.jp/kyoiku/page/0000051736.html>

概要版

〈発行〉名古屋市教員委員会事務局総務部企画経理課

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

TEL:052-972-3272 FAX:052-972-4175 E-mail:a3272@kyoiku.city.nagoya.lg.jp

表紙のイラストは、名古屋市立工芸高校デザイン科/服部めぐみさんの作品です。